

治療目的での服用 専門家から助言を

Q 四十九歳になる夫は一〇年来の漢方ファン。毎日数種類の漢方薬を飲んだり、中国や台湾直輸入の漢方薬を「肝臓や腎（じん）臓を強くする」と

いつて愛飲しています。「健康のため」と称していますが、軽度の高血圧、脂肪肝を指摘されています。内科受診を勧めても「これを飲んでいれば医者に行かなくても大丈夫」とききません。自己流の飲み方をしている効果や安全性は大丈夫なのでしようか。

A 質問者はご主人がお飲みの具体的な商品名も記載しているが、漢方薬と民間薬や健康食品を混同されている。天然物を加工した機能性食品や〇〇茶などの民間薬と、生薬を一定の法則の下に混合した漢方薬とは異なる。またそれを

治療の目的で用いる漢方医学はさらにおのずから異なる。

ご質問の肝臓や腎臓によいというのは、漢方という「肝」（血行や自律神経系の働きなど）や「腎」（生命力や病気を治す根元の力など）との関連でいわれているもので、現代医学の肝臓・腎臓の概念ではない。また漢方医学の立場からみても、民間薬や健康食品の効能書きは必ずしも根拠が明確でないといわざるをえないものもある。

自分で選んだ健康食品や漢方薬が、健康維持や時に病気の予防や治療に役立つのも事実であるが、Aさんによいものが、Bさんには不適ということもある。従って、治療目的で漢方薬を服用する場合は専門家の助言を受けて服用することを勧めます。